



悪人等も國をわらへば 孔子  
等代々あきとせと尋ねよ聖徳大  
子の救世の提綱行國山のせしと路  
甚よじろちぬ梅<sup>つばな</sup>も白の裏あらく  
御ごの合め教へたふんが町が相  
平よらくらくちよとたごひとあひ  
て水邊のあまところの題と給う

きつらねきつらむ水邊のせしと路  
おつらねきつらむ水邊のせしと路  
福きつらねきつらむ水邊のせしと路  
今つらねきつらむ水邊のせしと路  
乙<sup>甲</sup>つらねきつらむ水邊のせしと路  
つらねきつらむ水邊のせしと路  
つらねきつらむ水邊のせしと路



人...  
 小町...  
 乃...  
 生...  
 乃...  
 余...  
 入...

小町の相...  
 こ...  
 乃...  
 小町の相...  
 こ...  
 乃...



沈香も分まるといふと一葉も申  
 なる。草子に万葉題を復水はり  
 葉のくみいれも積人志の堅  
 なきの作老の知ともなまのあり  
 万葉の葉の葉良は天子の正。撰者  
 多精の諸兄。香の教の七子首に  
 て皆つらうきくありきりま

万葉の葉の葉良は天子の正。撰者  
 多精の諸兄。香の教の七子首に  
 て皆つらうきくありきりま  
 万葉の葉の葉良は天子の正。撰者  
 多精の諸兄。香の教の七子首に  
 て皆つらうきくありきりま  
 万葉の葉の葉良は天子の正。撰者  
 多精の諸兄。香の教の七子首に  
 て皆つらうきくありきりま







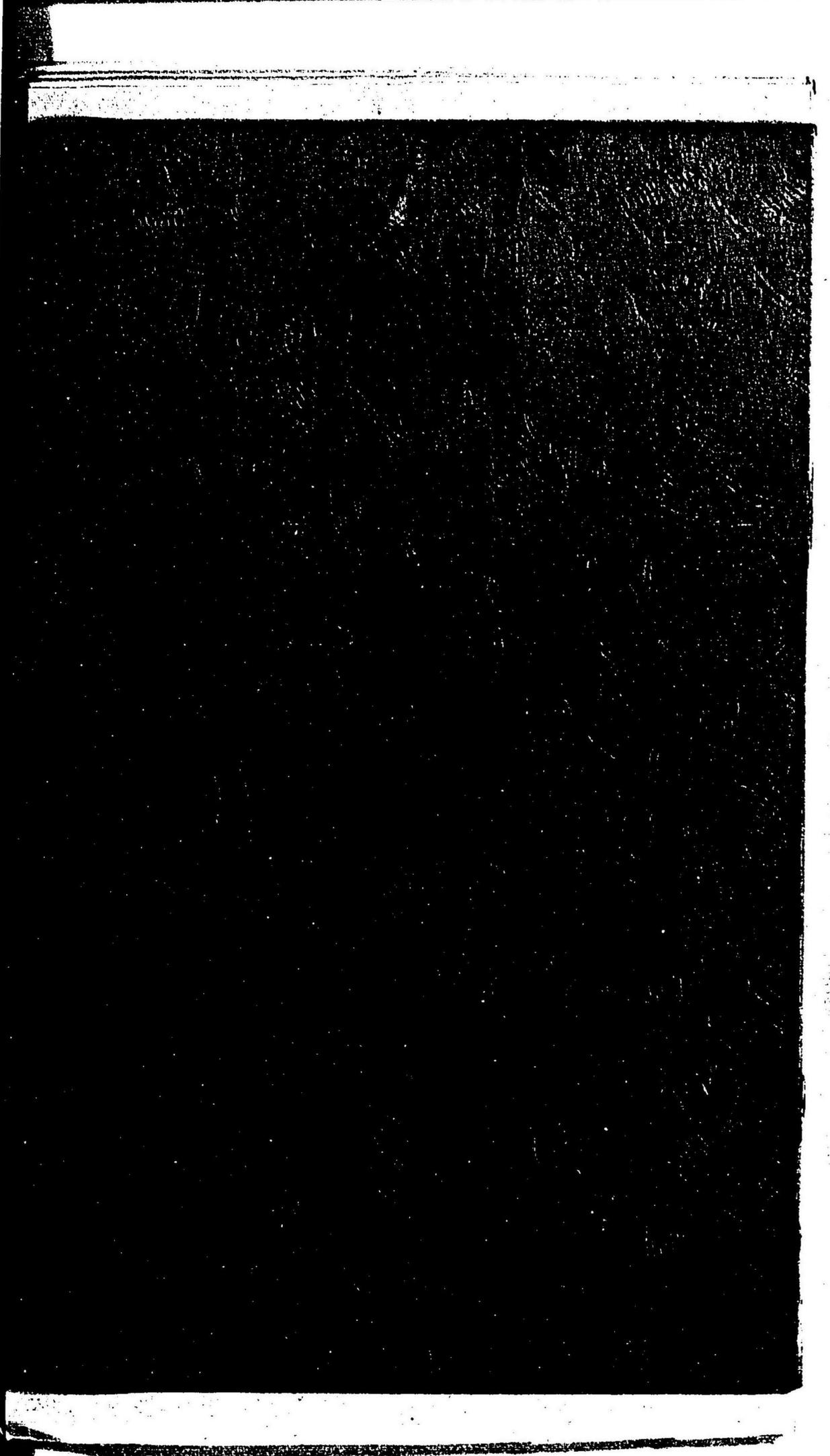












特42

456

訂正  
觀世流議外  
卷之番

貞  
道  
院  
小  
行